



SUPPORTERS CLUB NEWS

友の会 会報

TAKAYAMA-UICHI MEMORIAL MUSEUM OF ART

〒039-2501

青森県上北郡七戸町字荒熊内67-94
七戸町立鷹山宇一記念美術館内
鷹山宇一記念美術館友の会
TEL 0176-62-5858 FAX 0176-62-5860

鷹山宇一記念美術館友の会

平成15年度通常総会を開催

鷹山宇一記念美術館友の会の平成15年度通常総会が、6月7日(土)美術館2階工房において開催されました。平成14年度事業報告書・収支決算書及び平成15年度予算案の承認をはじめとする全ての議案が原案どおり可決され、今年度の事業体制が整いました。また友の会創立十周年を記念して平成15年・16年度にまたがり各種の事業を実施することが承認されました。本年度も、友の会会員の皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

会長挨拶

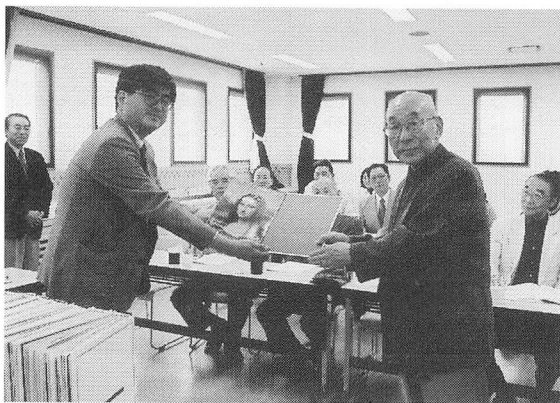
平成15年6月7日
会長 山本洋一

依然として厳しい経済情勢が続く中で、友の会を通じて美術館に格別のご支援をお寄せいただき心より御礼申し上げます。

私たちの友の会も来年度で創立十周年の記念すべき節目を迎えます。

会員の皆様のご理解とご協力によって活動を続けることができ、各方面より高い評価をいただいております。役員・会員の皆様のボランティア精神に改めて深い敬意を表する次第です。

今年度と来年度にわたり友の会創



通常総会後青山理事長に図書を贈呈

立十周年記念の各種事業を実施する計画を立てております。先ず来年早々にイタリア美術紀行を行う予定で、準備は着々と進んでいます。また美術全集の寄贈(15年度)鷹山先生の絵画購入資金の指定寄付(16年度)そして会報記念特集号の発行、会報縮刷版の編集などが計画されています。またなかなか一同に会する機会のない会員の皆様でするので、記念式典をおこなうべきとの提言もあり検討していきたくと考えております。どうぞ皆様の率直なご意見をお寄せください。本年度もご支援賜りますようお願い致します。

週刊 世界の美術館【講談社】

全100号10巻を美術館に友の会から寄贈しました。

平成15年度通常総会において承認された友の会創立十周年記念事業の一環として、講談社版「世界の美術館」(全100冊・バインダ―綴全十巻)を、総会終了後、会長よりご来賓として出席された青山浄晃財団理事長に贈呈いたしました。

この全集は世界中の有名美術館をその歴史・成り立ち・建物そしてもちろん収蔵品に至るまで全ページカラーの一冊一館の形で編集したもので、多数の図画と詳細な解説によって珠玉の名画・名品とそれを展示する美術館のあり方について多くのことを学ぶことができます。

また友の会創立五周年記念事業として実施したスペイン美術紀行で訪れたプラド・ミロ・ティツセンそしてルーブル・オルセーなど

とくさんの美術館も含まれており、旅行の参加者にと



ってはあの得難いひとときをこの全集により再び経験することが出来ます。

もちろん今年度実施予定の十周年記念事業・イタリア美術紀行の参加者にとつては、貴重な事前の学習資料となることでしょう。

青山理事長からいただいた丁寧な感謝の言葉を頂戴いたしました。

この全集は美術館一階のエントランスホールで常時閲覧可能ですので、友の会の会員の皆様は自分たちの資料として積極的にご利用くださるようお願いいたします。

第1回イタリア美術講座

参加者

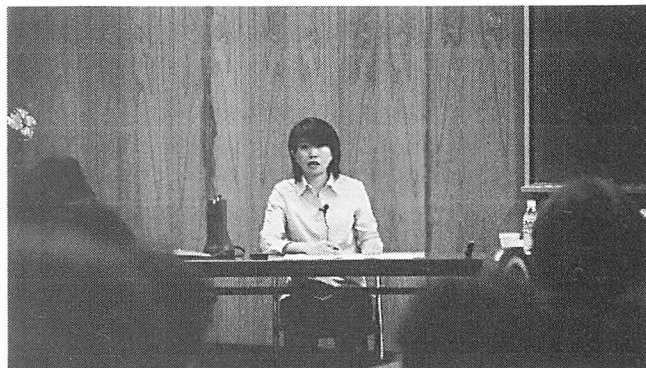
45名

と き 5月17日(土) 午後2時～4時
 と こ ろ 七戸町就業改善センター
 講 師 高橋しげみ 学芸員
 テーマ アツシジとピサ 中世美術の楽しみ

この日から第2回第3回と6回まで続きますので引き続きご参加ご聴講をお願い申し上げます。

県環境整備・芸術パーク構想推進室の学芸員の高橋しげみ氏を講師にお招きしての美術講座は、2時間という長時間にも関わらず熱心にメモを取りながら聴衆下さいました。その後の質問等も活発にありまして成功裡に終了いたしました事をご報告いたします。

友の会主催による第1回「イタリア美術講座」は去る5月17日【土】午後2時から場所を美術館2階工房から七戸町立体育館隣の就業改善センターに移して開催いたしました。当初の募集人数を大幅にオーバーしての申込みで、せっかく希望してくださる方々をお断りするのもお気の毒なので場所を移させていただきました。ご迷惑をお詫び申し上げます。又、県内各所から参加下さいました事を心より感謝申し上げます。



講師の 高橋しげみ 学芸員



次回イタリア美術講座のお知らせ

第2回 6月21日(土)

テーマ 【フィレンツェ ルネッサンス美術の楽しみ】

講師 三好 徹氏 (県 総括学芸主幹)

第4回 8月23日(土)

テーマ 【ローマ バロック美術の楽しみ】

講師 池田 亨氏 (県 学芸主査)

第3回 7月5日(土)

テーマ 【レオナルド・ダ・ヴィンチとミラノ】

講師 黒岩 恭介氏 (県 美術館館長予定者)

第5回 9月20日(土)

テーマ 【ヴェネツィアとヴェローナの美術】

講師 池田 亨氏 (県 学芸主査)

お問い合わせは

鷹山宇一記念美術館 TEL0176-62-5858 まで

特別展

未来のアーティスト集まれ!! ☆☆☆☆☆☆☆☆
木で作ろう! 造形の森展
 7/19(土)→9/7(日) ☆☆☆☆ 僕から君たちへ
 会期中はお休みなし! **島田紘一 呂展**

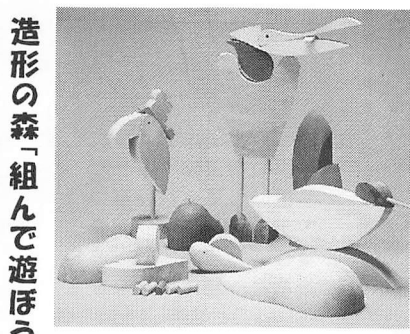


朝日新聞社と共催の「造形の森展」は、静岡大学教授で造形作家の杉山明博氏により制作された「木で出来た様々なかたち」を、子どもたち自らの創意によって、自由な「かたち」を作り出していく参加体験型展覧会です。そして、一人ひとりが遊びの中で手と足、五感を使ってつないだり重ねたりして、「木」のぬくもりを感じながらたくさん遊んだあとは、「造形とは何か...?」その道しるべの一つとして、今まさに活躍中の木彫作家・島田紘一(二科会彫刻部会員)氏の作品を紹介いたします。

見て、触って、自由に形作る! 参加・体験しながら「木」という素材と人間の豊かな発想・創造力、感性のさらなる可能性を探る、子どもも大人も一緒にお楽しみいただける「木」の展覧会です。ご家族で是非お出掛け下さい。

み〜んなアーティスト!
 あつまれ★なんぶっ子!!
「第3回鷹山賞児童作品展」
 作品募集!!

青森県南部地方小・中学生に作品を公募する「鷹山賞展」は、郷土の画家・鷹山宇一を顕彰するとともに、子どもたちに制作体験を通して豊かな感性を養い、自由な創造の喜びを味わってもらえたらと願い開催するものです。第3回となる本展では新たに各方面からのご協力を賜り、子どもたちの励みとなれば...と、下記のとおり賞も充実! 入賞者(概ね30名)には賞状と副賞が贈られます。テーマは自由! 四つ切り大画用紙以内の大きさで平面作品を募集! 切は10/13です。応募要項など詳しくは、鷹山宇一記念美術館(Tel. 0176-62-5858)迄お問い合わせ下さい。



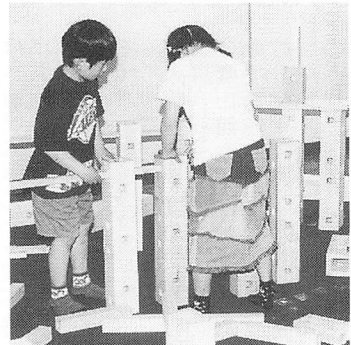
たくさんの板と角材を組み合わせると家や遊園地、果ては思いもよらない形が出来上がります。はじめから結果が分かる造形ではなく、遊びの中から子どもたちの潜在的な創造力、可能性が産み出されてきます。

「造形の森」組んで遊ぼう!

造形の森「鳥をつくろう」
 いろいろな形の木を、鳥の部分に見立てて組み合わせ形を作り立てる。自由な発想で繰り返し組み立てることで、想像力が身に付きます。

「造形の森展」
「島田紘一 呂展」
Information

- 入館料 ●一般¥500
- 学生¥300/小中¥100
- ※前売券、20名以上の団体は各2割引
- 入館時間 ●10:00~17:30
- (閉館18:00※8/1は開館記念日につき20:00)



未来のアーティスト集まれ!
 子どもたちは自由に柔軟な感性の持ち主、生まれながらにしてみんなアーティストです!

造形の森「都市をつくろう」
 穴のあいた箱と角材をつないで構造を工夫し、「人工土地」や「都市」を考えるものです。設計や構想力を拡大します。

●部門ごと1点に=鷹山賞(鷹山宇一記念美術館資料として保管)/七戸町長賞/七戸町教育長賞/美術館長賞

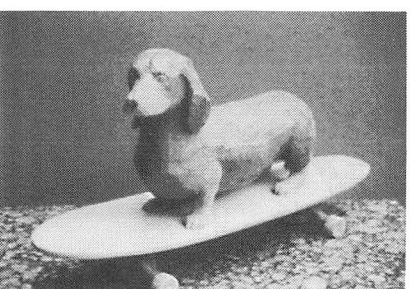
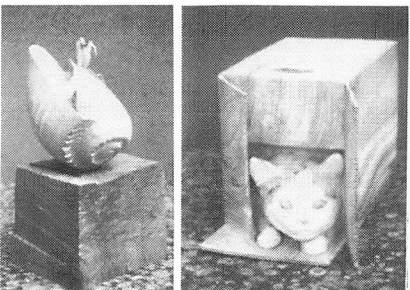
●全体で1点=東奥日報賞/デーリー東北新聞社賞/青森放送賞/青森テレビ賞/青森朝日放送賞

●この他奨励賞

ご応募
お待ちしております!!

予告★秋の特別展・青森県と共催★
アートツアー・イン青森
「成田亨が残したモノ」
 9月13日(土) 5月10日(月)
 ウルトラマンのデザイナーで特撮美術監督としても活躍をした郷土ゆかりの彫刻家・成田亨。デザイン原画をはじめ、遺族や関係者が所有する彫刻、油彩などによりその全貌を紹介します。

未来のアーティスト
 ○僕から君たちへ~島田紘一 呂展~



常に「木」と対峙しているこの作家は、生きていく「木から息づかいしているモノ」を産み出しています。そして何よりも「産み出し」より「造る喜び」があらわれている作品の表情に、「造形作家・島田紘一 呂」の実力を垣間見ることが出来ます。「えっ? これも木で!?」驚きの作品をお楽しみ下さい。

見町観音堂・小田子不動堂
 国指定重要有形民俗文化財
 青森県立郷土館特別展
「青森県の文化財」へ出品!

青森県には国宝や重要文化財など優れた文化財がたくさんあります。県立郷土館の開館30周年を記念した本展は、国・県指定の文化財382件を実物、映像、写真により紹介するもので、青森県の指定文化財を一堂に展示する初の展覧会です。本県の歴史・民俗・文化にふれるこの機会を是非お見逃しなく! 7月27日(日)まで開催中!!

◎**絵画寄贈**
 4月23日に八戸ガス(株)元会長・鈴木継男氏(中央)より鷹山宇一作品2点が七戸町に寄贈されました。美術資料として一層の活用を願っての感謝状を深く感謝申し上げます。

◆これからのスケジュール◆

- ◆7タシ/ナマエ:名前のプレート作り
7月5日(土)、6日(日) 13:00~15:00
材料費400円 定員各回15名
- ◆展覧会を見に行こう:体験型展覧会への参加
8月16日(土)、17日(日) 10:00~12:00
材料費500円 定員各回15名
- ◆もしも...怪物になった私...:指輪で怪物作り
9月20日(土)、21日(日)
10:00~12:00、13:00~15:00
材料費500円 定員各回10名
- ◆デコパージュ:貼り絵の一種
10月4日(土)、5日(日)
10:00~12:00、13:00~15:00
材料費400円 定員各回15名
- ◆粘土でバッジ:オープン粘土のバッジ作り
12月6日(土)、7日(日)
13:00~16:00
材料費400円 定員各回10名
- ◆じっくりコース「絵を描こう」
長期講座。各回、違った画材で絵を描きます。
材料費(9~12月の4回分) 1,000円 定員10名
- ◆夏休み特別講座
「キッズ・アートワールドあおもい2003へ参加しよう」
県のアートイベントへの参加です。今年はむつ市で行われる美術家・会田誠氏によるワークショップへの参加です。
7月25日(金)開催 参加費1,200円 定員20名

◆お申込み・お問合せ◆

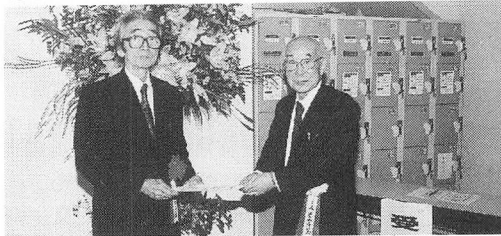
☎0176-62-5858 美術館(アートクラブ)

「春季二科展/二科会青森支部展」

美術ファンを魅了し6月1日(日)終了!

4月26日(土)の開幕から37日間の会期中、県内外から3,222人もの方々にご来館をいただきました。会期前日には二科会から理事で絵画部会員の西野嘉斎先生をお招きし、オープニングレセプションと内覧会を行いました。

また会期中は、友の会会員をはじめ七戸町文化協会、そして県立七戸高等学校のご協力を賜り、観覧者と展示品の安全を守る監視ボランティアに多くのご参加をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。



▲オープニングレセプション開催の4/25、西野嘉斎先生(左)には当館「特別顧問」にご就任いただきました。

- ◆「美術館アートクラブ」開催、木のオブジェに挑戦!(31日)
- ◆七彩色油絵教室(11日)
- ◆鷹山館長むつ市合同庁舎で行われた県民カレッジ報告会に出席(13日)
- ◆「美術館アートクラブ」開催、夾染の技法を用いたカードを制作(17・18日)
- ◆友の会主催「イタリヤ美術講座」第1回を開催、友の会「イタリヤ美術紀行」担当役員打合せ(17日)
- ◆鷹山館長七戸町観光協会総会に出席(盛田旅館・21日)
- ◆県立郷土館開館30周年記念特別展「青森県の文化財」出品のため、見町観音堂・小田子不動堂の国指定資料各5点を郷土館集荷(24日)
- ◆七彩色油絵教室(25日)
- ◆大池学芸員平野四郎作品返却及び島田純一先生作品集荷立会のため上京(29・30日)



😊 美術館 アートクラブ 😊

【担当/曾根原牧子】

昨年度、本格実施を目指し試験的に行い始めた子どもたちのためのワークショップは、4月から、小中学生を対象とした登録制の体験講座「アートクラブ」として出発しました。じっくり造る長期講座と、月ごとに違った内容を土日2日間より選んで参加できる短期講座があります。ただ今会員登録中です!

【アートクラブの概要】

入会登録

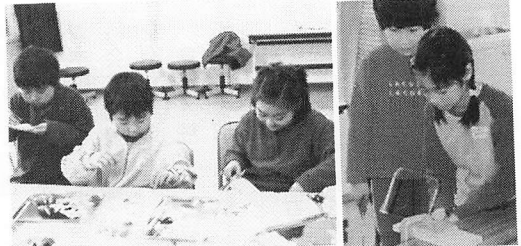
保険料など1,000円
【講座の要項などお届け】



参加したい講座の申込み



講座への参加



◆写真【右上】4月~8月「木のオブジェ」
【左上】4月「春のしおり」【下】5月「にじむ・ひろがる」

高校生 ボランティアスタッフ 募集のお知らせ

小中学生の作業を手伝いてくれるボランティアスタッフを募集しています。子どもたちと一緒に考えながら作ることは楽しいよ。



美術館 同誌

【3月】

- ◆青森県学芸員・三好氏、池田氏、工藤氏、板倉氏、成田亨展打合せのため来館(4日)
- ◆鷹山館長・浜中常務理事、故秋山庄太郎先生を偲ぶ会出席のため上京(5日)
- ◆鷹山館長、出前講座(移動美術館)を町立城南小学校6学年児童を対象に開催(10日)
- ◆火曜サロン開催(於2階工房・11日)
- ◆鷹山館長、出前講座(移動美術館)を町立七戸小学校6学年児童を対象に開催(13日)
- ◆七戸町観光写真コンテスト表彰式開催(於2階工房・21日)
- ◆第1回評議員会開催(29日)
- ◆第2回理事會開催(30日)
- ◆ワールドフォトプレス南部小絵馬を取材(31日)

【4月】

- ◆鷹山館長・大池学芸員、島田純一展(成田亨展打合せのため上京(2・4日))
- ◆「造形の森展」打合せのため大池学芸員・曾根原教育普及担当、函館美術館で開催の「木とのふれあいワールド展2」を視察(5日)
- ◆青森テレビ「古今往来」絵馬館を取材(6日)
- ◆小中学生のためのワークショップ「美術館アートクラブ」開催、木のオブジェに挑戦!(13日)
- ◆青森県学芸員・池田氏、工藤氏、板倉氏、成田亨展打合せのため来館(15日)
- ◆「美術館アートクラブ」開催、押し花を使っしおりを制作(19・20日)
- ◆春季二科展開催準備につき臨時休館(22・25日)
- ◆絵馬懇談会を開催(22日)
- ◆鈴木継男氏「八戸ガスの株」元会長より鷹山宇一の油彩画2点を町へ寄贈いただくにあたり、鷹山館長、大池学芸員立会(23日)
- ◆春季二科展式典出席のため

【5月】

- ◆成田亨展出品予定作家会田氏、県学芸員・池田氏、工藤氏、板倉氏とともに来館、七戸町内視察。6時より美術館関係者と懇談会(1日)
- ◆七戸小学校6学年児童郷土学習のため来館(2日)
- ◆大池学芸員県民カレッジ会議出席(於上北教育事務所・6日)
- ◆七彩色油絵教室(11日)
- ◆鷹山館長むつ市合同庁舎で行われた県民カレッジ報告会に出席(13日)
- ◆「美術館アートクラブ」開催、夾染の技法を用いたカードを制作(17・18日)
- ◆友の会主催「イタリヤ美術講座」第1回を開催、友の会「イタリヤ美術紀行」担当役員打合せ(17日)
- ◆鷹山館長七戸町観光協会総会に出席(盛田旅館・21日)
- ◆県立郷土館開館30周年記念特別展「青森県の文化財」出品のため、見町観音堂・小田子不動堂の国指定資料各5点を郷土館集荷(24日)
- ◆七彩色油絵教室(25日)
- ◆大池学芸員平野四郎作品返却及び島田純一先生作品集荷立会のため上京(29・30日)
- ◆「美術館アートクラブ」開催、木のオブジェに挑戦!(31日)

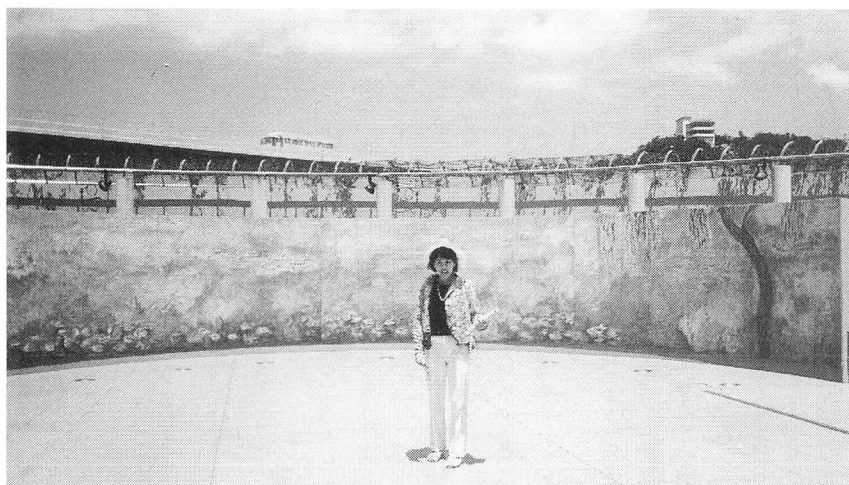
わたしのおすすめの美術館



下山恭美子

茨城県つくば市で開催された中央研修会への参加女性教員で結成した会では、毎年、会員輪番による地元での情報交換・親睦会を開催している。四国松山の会に参加の折り立ち寄ったのが、徳島

県鳴門市にある「大塚国際美術館」である。「日本最大の常設展示スペース（地上3階、地下3階）、世界25か国、190余の美術館が所蔵する古代壁画から西洋名画まで展示」との謳い文句にも



▲周囲を池に囲まれた「モネの大睡蓮」(地下2階)を背景に

「陶板？」
何程のことか」とあまり期待はしていません。実際この目で確かめてみたい気持ち一杯で長い列車を乗り継いでの旅も苦にはならなかった。

この美術館の特色は、世界の著名な美術館の臨場感と約3000年に及ぶ西洋美術史の代表名画を日本に居ながらにして体験できるように、最新

の陶板技術で原寸大に再現したところにある。またそれは、約2000年以上にわたって色と形がそのまま保存できるということで文化財の記録保存にも大いに貢献する。作品群は環境展示・系統展示・テーマ展示に分けられ、古代遺跡や教会などの壁画を環境空間ごとそのまま再現して立体展示され、大塚製菓グループが創立75周年記念事業として、多くの人材と莫大な財を投じて建設しただけあって圧巻である。館を巡る中、海外旅行の折りに現地でも感動したシスティーナ礼拝堂（イタリア）やボンペイの壁画・秘儀の間（イタリア）、ミケランジェロの『天地



▲システィーナ・ホール(地下2階ロビーより)

「陶板」でのコピーであることが少しも気にならない世界ひとつ飛びの

コーナード待機する監視員もほとんど見当たらず、広い館に分散してしまつた観客の姿もまばらな中、ゆったりとした雰囲気を楽しむことが出来ることも嬉しい。

【十和田市在住・友の会会員】

■大塚国際美術館へは■

所在地 徳島県鳴門市鳴門町土佐泊浦字福池65-1
TEL088(687)3737/FAX088(687)1117
<http://www.o-museum.or.jp>

開館時間 9:30~17:00(入館券の販売は16時まで)
休館日 毎週月曜日(月曜日が祝祭日の場合は翌日に振替)
入館料 小中学生 495円、高校生 1,000円、
大学生・一般 3,000円

アクセス
@自家用車では・・・神戸淡路鳴門自動車道の鳴門インターから鳴門海峡方面(左折)約3分
@高速バスでは・・・大坂・神戸～明石大橋・淡路島經由～鳴門公園口下車(徒歩10分)

@路線バスでは・・・
①鳴門市営バス(鳴門公園行)
JR鳴門駅～大塚美術館前下車(所要時間約15分)
②徳島バス(鳴門公園行)
JR徳島駅～大塚美術館前下車(所要時間約60分)

※上記情報に変更等がある場合もあります。お出掛けの際には事前に情報のご確認をおすすめします。

ルネサンス紀行

平成16年1月20日(火)〜30日(金)

この頃の世界情勢が刻一刻と変化している中、今のところ募集の40人をキープしています。

企画した側としては、多くの方々の信頼を裏切らないよう、楽しんで頂けるようにと何度も打ち合わせを重ねておりますが、旅行が近づくにつれ、この日程で本当にいいのかと自問自答しております。

今回、参加申込みの方々の中にはイタリア旅行を体験している方も多数いらっしゃるようで、そういう方々にとっても楽しい旅行にしたいと考えております。

40名という人数は一般のツアーと比べてもかなり多い上、60歳を超えている方が半数以上いらっしゃいますので、その点を考慮して、計画をしたつもりです。

狭い飛行機の中、長時間の飛行になりますので、体調を崩したりする方もでてくる予想されます。又、日本とは気候、習慣が違いますので、食事が合わない、眠れない、風邪をひいた、お腹を壊した、スリにあった等々、予測されますのでその対策を立てて全員、笑顔で帰国できよう念じております。

ご意見等がございましたら美術館までご一報下さい。是非、参考にさせていただきますので、お待ちしております。

研修旅行係

研修旅行のご案内

先般の総会で

下記のとおり研修旅行が決まりました。

詳しくは、後日ハガキにてご案内いたします。記

とき 8月10日(日)
研修先 青森市・棟方志功記念館／県立郷土館
「生誕100年記念展 棟方志功」

とき 9月28日(日)
研修先 弘前市・県立武道館
「第34回 日展 巡回展」

友の会更新の手続きと
ご入会のおすすめについて

前回のお知らせで更新及び入会の手続きを下さいました会員の皆様、誠にありがとうございました。新年度も会員の皆様方に芸術文化に一層親しんで頂けるよう、イタリア美術講座、研修旅行など企画実行しております。今後とも、友の会並びに美術館の事業にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また、更新手続きがお済みでない会員の皆様におかれましては、是非今年度もご継続下さいませようようお願い申し上げます。ご更新、新規ご加入の手続きは、美術館窓口、郵便振替用紙による方法にて随時受付しております。会員の種別、会費、特典につきましてはこれまでと同様です。詳しくは、美術館までお問い合わせ下さい。

火曜サロンのご案内

年4回3ヶ月に一度美術館の二階工房でフリートークの昼食会を行っています。ご興味のある方美術館へお問い合わせ下さい。是非、ご参加お待ちしております。

次回 今年度 第3回 火曜サロンの予定は

日時 平成15年9月16日(火) 12時～
場所 鷹山宇一記念美術館2階工房
参加費 昼食お弁当代 1,000円【弁当持参 OK】

準備の都合上9月14日(日)までに美術館 TEL0176-62-5858 森田までご連絡下さい。

監視ボランティア募集!!

毎回多くの会員の皆様から、監視ボランティアの協力を賜り感謝申し上げます。今年度の特別展は、さらに監視ボランティアが必要なる展示になる予定です。一層のご協力をお願い申し上げます。詳細については美術館までご連絡下さい。お待ちしております。

編集後記

先日、編集のため美術館の事務室におりましたら、避難訓練の打ち合わせをしている場面に出会いました。

最近、大きな地震があったり、又、民家の火災で消防士の方々が殉職されたばかりでしたので、災害を想定して職員の皆さんが真剣に打ち合わせをしていました。

美術館のような大きい建物、被害も大きくなる可能性があるので常日頃の対策が大切だと思います。万が一の事故が起きないことを祈っております。

本業の仕事に追われ会報の編集がスムーズに進まず気持ちばかりあせる毎日です。余裕の時間が欲しいと思う今日この頃です。

編集係 M・O